

事案書（☒経営会議 ☐調整会議）

開催日：令和4年11月15日（火）

担当課：市立病院事務局 経営戦略室

件 名：大和市立病院経営計画（2023年度～2027年度）（案）について	
提出理由：大和市立病院経営計画（2023年度～2027年度）の策定にあたり、その内容について了承を得るため	
内 容： 1. 背景等 ・本院では、国が示した「公立病院改革ガイドライン」に基づき、2019年度に経営計画（2019～2021年度）を策定。その後コロナ禍により、国が次期ガイドラインの策定を延期したため、本院も計画期間を1年延伸。 ・現行の計画期間（延伸後）が2022年度をもって終了するため、2022年3月に国が新たに示した「公立病院経営強化ガイドライン（以下「経営強化G L」という。）」に沿って、計画を策定する必要がある。 2. 次期計画の概要 (1) 基本的な考え方 ・今後も地域の基幹病院として役割を果たすこと、また機能分化の視点からいのちを守る急性期医療（特に心臓・脳卒中・骨折にかかる救急）に重点的に取り組むことを明確化した計画とする。 (2) 計画の概要 ①基本的事項 ・計画期間：経営強化G Lで示された標準期間である2023～2027年度とする。ただし、2025年度には計画後期分に向けた見直しを行う。 ・基本理念：市民から信頼される地域の基幹病院として良質かつ適切な医療サービスを提供する。 ・位置づけ：健康都市やまと総合計画の個別目標「いつでも必要な医療が受けられる」の実現に向けた個別計画及び経営強化G Lで求められる「公立病院改革プラン」として位置付ける。 ②本院の現状と取り巻く環境 ・本院を取り巻く環境として、高齢者人口推計や本院が提供している医療等の状況を記載。 ・二次医療圏内で求められる医療需要及び供給体制について、県の地域医療構想を引用。	③役割・機能の最適化と連携の強化 ・地域の基幹病院として急性期医療を担うに相応しい医療体制を構築しつつ、地域の診療所やクリニックとの機能分化・連携強化を進めていく。 ・独立採算に努めつつ、採算確保が困難な政策医療については、一般会計へ適正な負担を求める。 ④医師・看護師等の確保と働き方改革 ・働き方改革への対応として、タスクシフト・タスクシェアの推進等により時間外労働の縮減を図る。 ⑤経営形態の見直し ・調査研究結果として地方公営企業法全部適用への移行が望ましいと院内では一定の方向性を整理。 ・検討を重ねて、最終的な意思決定を目指す」と明記。 ⑥新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組 ・近隣の協力医療機関との連携により、より多くの新型コロナウイルス感染症の中等症患者へ適切な医療提供をできる体制を目指す。 ⑦施設・設備の最適化 ・2021年度に見直した施設保全計画に基づき施設・設備改修を行うことで、施設の長寿命化を図る。 ⑧経営の効率化等 ・経営強化G Lで示された、収支改善に係わるもの等の指標について、それぞれ目標値を設定。 ⑨目標達成に向けた重点的な取組項目 ・経営指標の目標値を達成するために、重点的に取り組む項目を「4つの施策方針」として整理。 1) 市民のいのちを守る救急【最重要施策】 2) 機能分化で進化する地域連携 3) コスト削減による経営改善 4) 診療報酬の的確な取得 ⑩計画指標の進行管理について ・指標達成に向けて進行管理を行い、結果をホームページ等で公表する。
経 過 R3. 12～ 院内経営企画会議の他、意見聴取ワークショップ R4. 3～ 市立病院運営審議会（3・7・10月） R4. 5 大和市医師会へアンケート実施 R4. 6 市長部局へ意見照会（政策部・健康福祉部） R4. 8 大和市医師会との意見交換会	今後の予定 R4. 12 市立病院運営審議会（諮問） R5. 1 市民意見公募手続（パブコメ）の実施 R5. 2 市立病院運営審議会（答申） R5. 3 計画策定